

教育活動の報告

榎原 洋一（お茶の水女子大学人間発達教育研究センター）

本講座は、現職保育者をはじめ幼児教育・保育に関心を持つ社会人の学び直しの機会を提供するために、平成17年度以下の4種類の業務を実施してきた。

（1）特設講座授業の開講

「子どもの心身の理解」「育児・保育の理解」「保育教材・保育環境の理解」の3本柱をもとに、合計19科目を開講した（表①参照）。合計148名（社会人受講生58名、学部学生90名）の受講者があった。

表① 平成21年度 開設科目

【前学期】		【後学期】	
常設授業	○障害児保育教育論Ⅰ	常設授業	障害児保育教育論Ⅱ
	育児・保育環境と工学Ⅰ		○乳幼児行動の発達心理学
	子どもの病気とそのメカニズムⅠ		乳幼児の発達と脳科学Ⅰ
	保育実践研究Ⅰ／Ⅲ		保育実践研究Ⅱ／Ⅳ
	保育臨床演習Ⅰ		比較保育学Ⅰ
夏期集中授業	○保育者の情報学応用	土曜集中	○幼児理解とその方法Ⅱ
	保育と食育		
	実践音楽療法	春期集中	現代育児論Ⅰ
	○絵本・おもちゃ・メディア研究Ⅳ		絵本・おもちゃ・メディア研究Ⅲ

※○印は「免許法認定公開講座」との共用科目

（2）平成21年度免許法認定公開講座の実施

前学期と後学期に、幼稚園一種免許を取得するための教育職員免許法に基づく公開講座を実施し、5科目を開設（前学期1科目、夏期集中2科目、後学期1科目、土曜集中1科目）した（表②参照）。前学期は13名、後学期は15名の受講者があった。

表② 平成21年度 幼稚園一種免教法認定公開講座開設科目

		科目名	講師
前学期	常設	障害児保育教育論Ⅰ	長谷川 武弘（お茶の水女子大学 講師）
	夏期集中	絵本・おもちゃ・メディア研究Ⅳ	一色 伸夫（甲南女子大学 教授） 坂上 浩子（日本放送協会）
		保育者の情報学応用	長谷川 武弘（お茶の水女子大学 講師）
後学期	常設	乳幼児行動の発達心理学	安治 陽子（お茶の水女子大学 AF）
	土曜集中	幼児理解とその方法Ⅱ	内田 伸子（お茶の水女子大学 教授） 大戸美也子（お茶の水女子大学 教授） 刑部 育子（お茶の水女子大学 准教授） 柴坂 寿子（お茶の水女子大学 准教授） 浜口 順子（お茶の水女子大学 准教授）

（3）土曜保育フォーラム シリーズ⑤の開催

保育に関する今日的課題に焦点をあて、専門家による講義をシリーズで公開してきたが、平成21年度は、以下のテーマを設け3回の連続講義を実施した。

シリーズ⑥のタイトル、講師及び参加者数は表③の通りである。

表③ 平成21年度 土曜保育フォーラムのタイトル、講師及び参加者数

前学期 シリーズ⑥ 「豊かな保育の実現」 オーガナイザー：大戸 美也子

日にち	タイトル	講師	参加者
5月24日（土）	子どもの貧困とヨカッタ探しの保育論	浅井 春夫 （立教大学 教授）	50
6月21日（土）	少子化時代の子どもと大人 —子ども嫌いの時代に、子どもとともに歩むために—	本田 和子 （本学 名誉教授）	76
7月19日（土）	保育所保育の役割 —こどもの生活に必要な支えの復権	大場 幸夫 （大妻女子大学 学長）	65
		合計	191

(4) Monograph の作成

昨年度に引き続き、上記(3)の土曜フォーラムの内容を元に、「チャイルド ケア アンド エデュケーション講座 土曜保育フォーラム モノグラフⅡ 豊かな保育の実現」を刊行した。